

東京都立大江戸高等学校 平成29年度 芸術科 年間授業計画

1. 科目名 工芸 I 2. 講座名 (単位数) 工芸 I (2単位)

3. 教科担当者

4. 使用教科書・教材 高等学校工芸 I (日本文教出版)

5. 授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	○オリエンテーション ○教科書を見て	○・担当者自己紹介、生徒自己紹介 ・年間授業計画の説明 ・授業内容の説明	○授業評価について理解させる。(意欲・関心、技術、表現 感性)	4
	5		・授業評価について ・教材費の徴収について	○道具の使い方を指導する	8
	6		・ワーク	○期日までに完成するかどう うか計画を立てさせる	8
	7	○木彫 (コースターの制作)	○・彫刻刀の使用方法的説明 ・彫刻刀の管理について ・デザインスケッチ ・下書き ・木彫 ・塗り箸の研ぎ出し	○技法のイメージが掴めた か ○用具の使用方法和名称につ いて理解できたか ○立体感が出るように彫れ るか ○均等に仕上げができてい るか	6
2 学期	9	○藍染	○・ランチョンマット作成 ・材料と用具の説明	○期日までに完成するかど うか計画を立てさせる	8
	10		・アイディアスケッチ ・ろうで図案を描く	○技法のイメージが掴めた か	6
	11	○張り子	○・張り子で生き物を作成する ・お面の型に油土を盛り上げ、成 形する	○用具の使用方法和名称につ いて理解できたか	8
	12		・和紙を定期的な大きさにちぎっ て糊で均等に貼り重ね、必要な厚 みにする ・乾燥 ・粘土をぬきとり下地材を塗る ・彩色、ニス塗り	○染色技法を理解できたか	6
3 学期	1	○籐工芸	○・アイディアスケッチ (使用目的、使 用場所も含む)	○期日までに完成するかど うか計画を立てさせる	6
	2		・底編み (十字編み) ・編み上げ、編み留め	○技法のイメージが掴めた か	6
	3			○用具の使用方法和名称につ いて理解できたか ○籐素材の特性を理解でき たか	4
予定時数計					70